

多久市公共施設個別施設計画(案)に関するパブリックコメントの実施結果

1 パブリックコメントの実施状況

- (1)意見の募集期間 令和5年2月24日(金)～令和5年3月25日(土)
 (2)応募者数・件数 1名・8件
 (3)提出方法の内訳 持参1名、郵送0名、ファックス0名、電子メール0名

No	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	P1 及び P164 で見直しを概ね 10 年毎とされているが、市の総合計画は、基本計画を 5 年ごとに見直されているので、同様に 5 年毎の見直しが良いと思われる。	多久市公共施設個別施設計画の上位計画である、多久市公共施設等総合管理計画では 10 年毎の見直しとしています。総合管理計画との整合を図り 10 年毎の見直しとします。
2	P2 以降に、耐震基準が旧・新と記載されているが、P62 以降に説明記載があることを、記載していた方が良くと思う。構造については P156 に説明があるが、最初の P2 に説明があったほうが良い。	ご指摘ありがとうございます。 P2 に説明記載を行います。
3	P9 東多久交流プラザの構造の記載がない	ご指摘ありがとうございます。 修正を行います。
4	P14 以降第 2 章公共施設を取り巻く現状データが全般的に平成 29 年、30 年のデータであり古すぎる。一般的には施策でデータを活用する際は、可能な限り新しいデータを使用するが、仮にコロナの影響があるので最新を使用しない場合は、その旨の記載が必要である。	ご指摘のとおり、公共施設を取り巻く現状については、平成 29 年、平成 30 年のデータとなっています。この計画は令和 2 年度策定予定で施設の利用状況、現地調査、今後の維持管理コストなど一部専門的業務について業者に委託し策定の準備を進めていましたが、令和 2 年度に新型コロナウイルス感染症がまん延したため、新型コロナウイルス感染症対策を優先するため、策定業務を一時中断しました。 策定業務を再開し、データについても見直しを検討しましたが、一部のデータ更新については再度業者への委託が必要となり経費増が見込まれたことと合わせて、令和2年度以降一部施設では新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、通常の利用状況との乖離が大きくデータとして使用しない方が良いと判断しました。 また、本計画の趣旨は 40 年後の施設のあ

		り方を示すものであり、データ更新を行わなくても、計画に影響を及ぼす恐れがないと判断しました。
5	P64 東庁舎は耐震補強済とあるが、診断をしないと補強しないので間違いでは？	確認した結果、耐震補強済ではありませんでしたので修正を行います。
6	P67、P131 北多久公民館は、建設中であることを記載すべきである。	P67、P131 については、現在の施設についての記載となっているため、記載していません。 個別施設の取組については、P155 以降に記載しております。
7	P73 からの 6-3 劣化状況の現地調査結果と P80 からの 6-4 老朽化状況の全体的傾向は、関連施設を続けて記載してもらった方が、分かりやすい。	ご指摘ありがとうございます。 ご指摘のように、分かりやすい記載方法に変更します。
8	P75、P127、P130 緑が丘社会体育館は、改修工事を行ったので、劣化状況評価、ハード、建物総合評価を変更すべきである。	緑が丘社会体育館の改修工事は令和 2 年度に行っています。 No4でも回答しているとおり、平成 28 年度のデータで記載を行います。次の見直し時に指摘の情報を反映させることとします。